



【アグリノート】
家庭菜園情報

JA福井県

今年の7月は昨年より高温と少雨の日が続いています。降水量も少なかったことから菜園での作業には苦勞された方もいたかと思います。8月に入っても暑い日が続くと予想されています。秋冬野菜の栽培が始まりますので、栽培管理はもちろん自身の体調にも気を付けていただきたいと思います。病害虫対策は予防防除、初期防除に取り組み、収穫量の確保に向けて対応をしていきましょう。間引いたものを食べる場合は、農薬の登録事項（収穫前日数等）に注意してください。

1. 秋冬ニンジン

■ 播種時期：7月中旬～8月中旬

■ 圃場準備のポイント

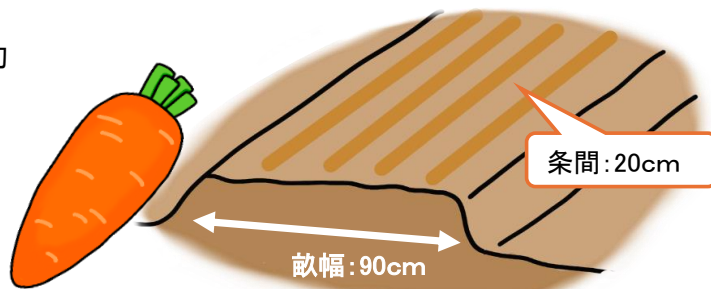
- ①未熟堆肥は使用しない。
- ②土を深く耕うんし、できるだけ細かくする。

■ 播種方法

- ①畝（播き床）を平らにする。
- ②播種前日に播き床に十分かん水する。
- ③播き床に浅い溝をつけて、1～2cm間隔で播種する。
- ④播種後5mm程度覆土し、よく鎮圧する。
- ⑤土壌表面にモミガラなどを播き、十分かん水する。

■ 播種後の管理

- ①発芽するまで、晴天の日は朝と夕方の2回かん水を行う。
- ②間引きは遅れないように行う。



★ ニンジンの種子は吸水力が弱いので、発芽するまでは常にかん水をしましょう。

■ 間引き

- (1回目)本葉2～3枚時に株間が3～4cm間隔で間引く。
- (2回目)本葉5～6枚時に株間が6～8cm間隔で間引く。

2. 秋冬ダイコン

■ 播種時期：8月末～9月中下旬
近年暑い日が続いており、時期は遅らせてもいい。

■ 圃場準備のポイント

- ①土塊を極力細かくするため、握った土が固まり、放すと崩れる程度に湿った状態で深耕する。
- ②播種の7日前までに元肥施肥を行う。
本葉5～6枚時には30g/㎡の追肥を行う。

■ 播種方法

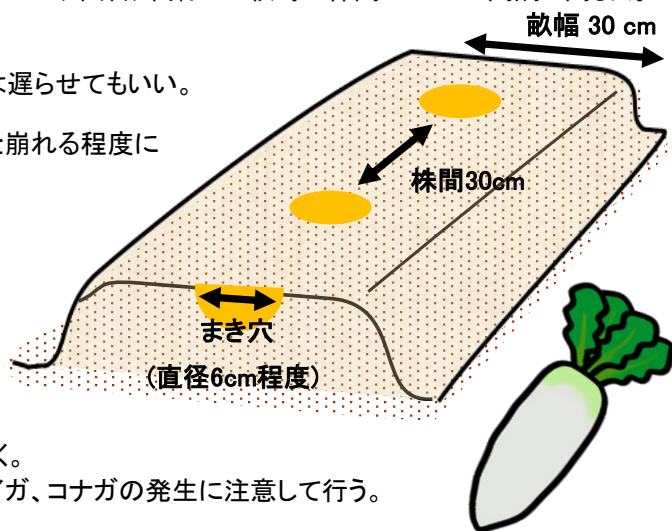
- ①土壌に湿り気がある状態で行う。
- ②株間30cmの間隔で、まき穴（深さ1.0～1.5cm）を作り、1か所に4、5粒程度まく。

■ 病害虫防除

- ①予防防除：播種時に浸透性の殺虫剤の粒剤を穴へまく。
- ②初期防除：本葉1枚時からアブラムシ、ハイマダラノメイガ、コナガの発生に注意して行う。

■ 播種後の管理

本葉が1～2枚時に2本に、本葉が5～6枚時に1本に間引く。



3. 小松菜

■ 播種時期：7月～8月下旬（夏播き）、9月中旬～10月（秋播き）

■ 圃場準備のポイント

- ①播種2週間前に苦土石灰をまいて耕す（100～150g/㎡）
- ②播種の7日前にたい肥と元肥を施肥し耕す（化成肥料100g/㎡）

■ 播種方法

- ①株間6cm程、1穴4、5粒程度まき、覆土し、軽くおさえてからかん水する。

■ 播種後の管理

- ①発芽（3～4日後）までは土壌の乾燥に気を付けて適宜かん水。
- ②本葉が出始めたら、生育の遅れているものや病害の見られるものを間引く。
- ③本葉が2～3枚時に1本にする、間引き作業後は株元に化成肥料（30g/㎡）を施用し、軽く土寄せする。

